

高小だより

羽曳野市立高鷲小学校



これからの学びと学校～

朝晩、大変過ごしやすくなりました。とはいえ日中は熱中症を心配するほどの暑さが続いており、この気温差で体調を悪くしてしまうということもちらほら見受けられます。子どもたちは運動会に向けて、練習に忙しくがんばっております。ご家庭では子どもたちの十分な睡眠等、体調管理にご協力をお願いいたします。

1学期に代表委員会が中心となってユニセフの募金活動をおこないました。みなさんの協力で集まった募金を協会に送金することができました。ありがとうございます。

また、大阪府警より交通安全活動で事故防止に努めたとして表彰していただきました。



コロナ禍により、これまでの日中子どもが学校にいたということがあたり前ではなくなった結果、「学校に集まることの意味がなんであるか」を考えるきっかけとなりました。学校という空間で顔を合わせている時間を大切に使うことが、今、問われています。これまで紙と鉛筆で答えをかいていた授業形式が、一人一台のタブレット導入により、その機器を活用することで学習の理解も格段に深まり、多様な表現方法が選べる学習へと変化しております。これからの学校・教育は人とのぶつかりあいやかわりを通じて自分なりに気がついて行動する力をはるかに大切になっています。自ら気づいたことは体験として忘れませんし、その人の成長の土台となります。

「何か違う」という直感、こういった皮膚感覚・肌感覚のある判断力を育てていきたいと考えます。それが本校の学校教育目標である『知・仁・勇』ともつながる部分です。まなび、感じ、実行する力の育成と折り合いを持つことの大切さです。

チャットGPTの開発等、覚えることは機械のほうが得意でしょうが、その解答が本当に正しいのか見極めることが求められている時代です。どんな状況にあっても私ならやれるという確信をこれからの子どもたちにはもってほしいと願っております。

学校長 平元 千恵美